

第56期中央労働講座

沖縄地方本部執行員 下條智史

今回、はじめて全港湾中央労働講座参加しました。講座内容は、①全港湾の歴史②産別協定と事前協議制度 ③「組合強化とは、役員とは、組織運営はどうあるべきか」

鈴木誠一委員長、全国港湾玉田書記長、鈴木龍一副委員長を講師に6/12～6/14の3日間シーパレスにて行われました。

全港湾の歴史では戦後、連合国軍による五大改革指令の一つ「労働改革」労働組合結成支援の一つで労働組合が出来た事しり驚きました。

戦後の労働運動は米をよこせから始まった運動が今や産別労働組合にまでなり全港湾労働組合の先輩達の団結力のすごさを改めて知りました。

事前協議制度では、革新船の影響で雇用の安定を守るために大井埠頭で4波のストライキ46日間封鎖しその結果、日本港湾協会と産別団体交渉権を確立できた事を知りました。

また組織強化については労働組合の基礎を知る事が大事だと思いました。

労働講座に参加かして労働組合の大切を再認識できました。

今回参加した仲間達とたくさん交流もできて今後の組合活動に行かせたいと思います。